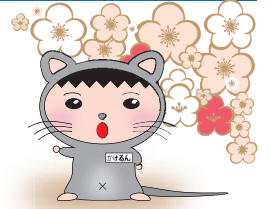


# かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

## 油の流出事故に「注意ください」

### 単純ミスで

### 灯油や重油が川へ

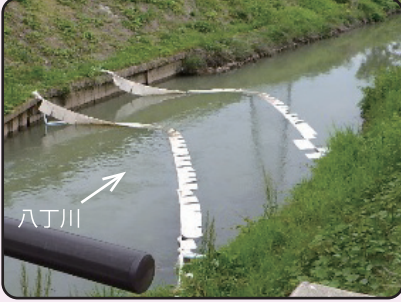
梯川には、12本の支川が流れ込んでいます。『つい、うっかりで』たいへんなことになります。平成30年5月12日、オイルタンクのバルブ閉め忘れが原因で八丁川へ約50ℓの油が流れ出しました。

小松市道路河川課、南加賀土木総合事務所、国土交通省小松



八丁川へ流出した油により広がった油膜

流出した油を吸着マットで回収



出張所が連携して、梯川への流出をくい止めました。近年、大量の油流出は発生していませんが、油断は禁物です。

### 冬は油の使用が増える時期です

暖房器具の使用が増える『この時期』、ホームタンクの閉め忘れによる事故が各地で頻発します。配管やバルブの腐食による油流出にも注意が必要です。



目を離さないで!

### 油流出事故が発生したとき、見つけたとき

迷わず電話をかけてください。

小松市エコロジー推進課 0761-24-8067  
小松市消防本部 0761-20-1119

流出場所、油の種類、流出量もお忘れなく。

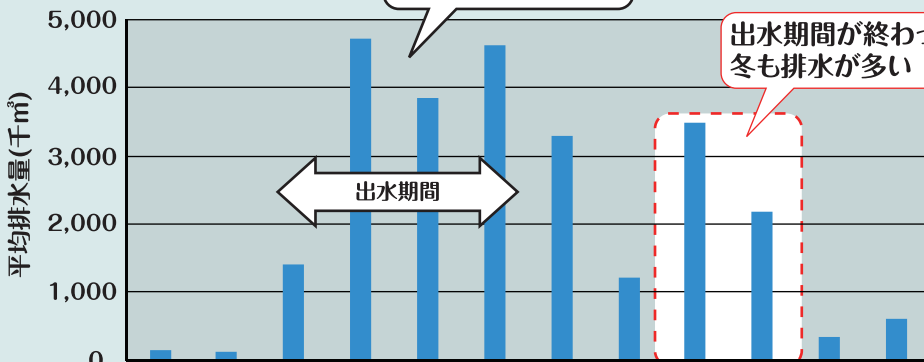
## 前川排水機場

冬も頑張っています



排水しているのでここだけ水の色が違います

雨の多い時期はもちろん排水が多い



梯川の出水期間は6/15~9/30です

月別の平均排水量(最近5年間の平均値)

大雨が降って梯川の水位が高くなったとき、前川の水を梯川に排出するために稼働する前川排水機場。雨の多い時期は木場潟周辺の内水氾濫を防ぐ重要な仕事を担っています。一方、雪が降り雨の少ない冬季は何をしているかというと、実は大事な仕事があります。冬の日本海沿岸は、吹き付ける季節風と発達した低気圧の通過により、高い波が押し寄せます。この冬季の波浪により河川には海水が遡上してきます。

この塩水遡上を防ぐために、冬季は梯川逆水門を閉めて、前川の水をポンプで排水します。排水機場と逆水門は、洪水時以外にも前川や木場潟を守っています。

# 梯川の自然環境

国土交通省では、梯川の環境を調査する目的で、「河川水辺の国勢調査」を実施しています。

調査する項目は、「魚類」「底生動物」「植物」「鳥類」「両生類・爬虫類・哺乳類」「陸上昆虫類等」の6項目です。これまでの調査で様々な生きものが確認されています。希少な生きものがいる一方で、特定外来生物も確認されています。その一部を紹介します。

※海外由来の外来生物のうち、生態系や人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす、又は及ぼす可能性のあるもので外来生物法により指定された種

注意!! 特定外来生物!!



放流や運搬、飼育すると法律で罰せられます

長い汽水域を利用します



蛇行部の瀬で産卵します

## 下流部

川の流れが緩やかで長い汽水域(河川の水と海水が混ざる中間的な塩分濃度の水域)が特徴です。鍋谷川との合流点付近まで塩水が遡上するので、ボラやスズキといった汽水魚も広く生息しています。水際にはヨシやマコモなどの抽水植物(水底に根を張り、茎や葉が水上にでる植物)が連続して生育しており、ギンブナやキタノメダカ、オオヨシキリ、イシガメなどの良好な生息環境となっています。

注意!! 特定外来生物!!



植えたり種をまくと法律で罰せられます



緩やかな流れの河岸に分布し、魚類やカメの生息場所やオオヨシキリの営巣場所となっています

流れの緩やかな場所を好みます

スズキやヨシなどに巣をつくります



スズキやヨシなどに巣をつくります



ジャコウアゲハの食草で堤防面に生育しています



河岸の土羽に巣をつくります



砂礫地に巣をつくります



## 上流部

鍋谷川との合流点より上流では川が蛇行する場所が現れ、淵や瀬といった流れに変化が見られます。河道のまわりには草地や自然河岸(崖地)、砂礫地が現れます。草地はツルヨシやスズキが生育し、カヤネズミが繁殖場所として利用しています。自然河岸(崖地)にはカワセミが巣をつくります。

トピック!!

## 伝統工法で自然に配慮

『粗朶沈床』という工法を「粗朶」と呼ばれる、木の枝を束ねた資材を格子状に組み合わせ、重りとなる石で沈めて護岸や護床を洗掘から守る工法です。

この工法は明治時代にオランダ人の土木技師ヨハネス・デ・レーケらにより伝えられた伝統的な工法です。水の流れによって河岸や川底が削られても、粗朶が地形の変化に合わせてしなやかに曲がり護岸や河床を守ります。現在でもその施工は全て職人による手作業で行います。

自然の素材を使ったこの工法は、魚類などの生息場所となる隙間が多いだけでなく、材料を切り出す里山の環境を維持する効果もあり、生きものにやさしい工法です。

※人里に近い雑木林で、薪のための伐採などが利用することで維持されています。近年は利用されずに荒れた場所が増えています。



現在施工中の金屋地区の低水護岸工事では、粗朶沈床を採用しています



材料の隙間が、魚類などの生息場所として利用されます



職人の手作業により組み上げられます



粗朶を格子状に組み、石を載せて川底に沈めます



# 最新の技術で掘っています

洪水を流す能力向上のために現在  
 施工中の小松地区河道掘削工事、実  
 はICTを活用した最新の技術を  
 駆使して工事を進めています。その  
 一部を紹介します。

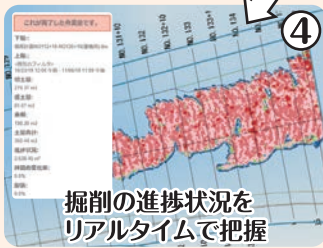


①川底の地形をGPSとソナーを搭載した無人ボートで測量

②測量した地形データと掘削予定の3次元設計データを重ね合わせ、掘削する土量を算出



③3次元設計データをICT建機に搭載して高精度な掘削を台船上から実施



④ICT建機の施工履歴データにより、掘削の進捗状況のリアルタイムな把握が可能

※3次元測量や3次元設計、ICT建機などのICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) を活用した工事のことで、工事の効率や安全性、精度の向上といったメリットがあります。

## 工事の進捗

現在、以下に示す改修工事 (A~P、a) が施工中あるいは施工予定となっています。



○施工中の工事【引き続きご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします】

番号	工事名	工期	受注者
A	H30・31梯川得橋樋管改築工事	平成30年11月28日～令和2年3月25日	株式会社 丸西組
B	H30梯川荒木田地区災害復旧その1工事	平成30年12月20日～令和2年3月19日	株式会社 吉光組
C	H30梯川荒木田地区災害復旧その2工事	平成30年12月20日～令和2年3月13日	株式会社 丸西組
D	H30梯川荒木田地区災害復旧その3工事	平成30年12月14日～令和2年1月31日	株式会社 豊蔵組
E	H30梯川金屋河道掘削工事	平成31年3月29日～令和2年3月4日	白山建設株式会社
F	H30梯川金屋低水護岸工事	平成31年3月30日～令和2年2月5日	株式会社 丸西組
G	H30梯川千代築堤他工事	平成31年3月30日～令和2年3月10日	株式会社 江口組
H	R1梯川国府築堤護岸工事	令和元年6月28日～令和2年2月28日	株式会社 明翫組
I	R1梯川小松地区河道掘削工事	令和元年6月29日～令和2年2月28日	株式会社 豊蔵組
J	R1梯川能美低水護岸その1工事	令和元年7月23日～令和2年2月28日	株式会社 江口組
K	R1梯川能美低水護岸その2工事	令和元年7月23日～令和2年2月28日	中島建設株式会社
L	R1梯川白江低水護岸工事	令和元年7月30日～令和2年2月28日	株式会社 明翫組
M	R1梯川白江浸透対策工事	令和元年8月6日～令和2年2月28日	酒井工業株式会社
N	R1・2梯川能美大橋下部工事	令和元年8月6日～令和2年12月25日	本建設工業株式会社
O	R1梯川能美大橋下部その2工事	令和元年8月30日～令和2年7月10日	日本海建設株式会社
P	R1梯川白江地区築堤護岸工事	令和元年10月24日～令和2年7月15日	株式会社 丸西組

○施工予定の工事【今後周辺のみなさまにご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします】

番号	工事名	工期	受注者
a	R1梯川川辺地区浸透対策他工事 (予定)	令和2年1月下旬～令和3年1月21日	未定



※ 地図上に描かれている番号について、赤字は「新規」、青字は「継続」を示しています。

## ご意見・お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800 (代表)  
 小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>  
 メールアドレス [kanazawa-bousai1@hrr.mlit.go.jp](mailto:kanazawa-bousai1@hrr.mlit.go.jp)  
 ツイッター <https://twitter.com/kanazawabousai1>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧いただけます。なお、ご意見等がございましたら上記のメールアドレスへお送りください。

